

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000375
事業所名	グループホーム 和合の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地区の行事として盆踊り、町民祭り、コミュニティセンターで開催される雑祭りのおこし餅作り等に参加し、地域との交流に努めている。ボランティアの受け入れとして琴、ハンドベル、オカリナの演奏が定期的に継続されている。その他に体験学習として中学校のボランティアの受け入れも行い、利用者と交流を図っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	東郷町福祉部長寿課職員、地域包括支援センター職員、民生委員、ボランティア、利用者家族、職員の参加で二か月毎に開催され、ホームの活動報告をすると共に質疑応答や意見交換を行っている。会議の際にホームの取り組みを知って貰う為に避難訓練を実施し、消防署員によりAED、心肺蘇生の訓練を受けている。又餅つきも行い、家族交流や参加者の交流も図られている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	毎月一回、役場から介護相談員が来訪し、利用者と話すことで利用者に喜ばれている。後日その時の内容が書面で送られ、日々の支援に反映されている。役場主催の研修に職員は順番に参加し、内容は勉強会で職員に共有されている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族会が夏の盆踊りの他に冬の餅つきの際にも行われ、家族同士の交流が図られている。面会時や家族会などで、意見、要望を聞き取り、速やかな対応が出来るように努めている。家族に毎月郵送される「和合の家だより」は、利用者一人ひとりの様子や状況を書面で伝え家族から喜ばれている。又家族に応じて電話で連絡や報告を行っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。